



① 第4回 人権・同和教育ホームルーム活動

3年生 土居高校では、人権について正しく知り、仲間と共に人権意識を高め、差別をなくすための実践力を身に付けてきました。高校最後の活動では、これからも学び続けることの大切さ、人権を学ぶことは「命」を守ることにつながること、「自分」や「自分の大切な人」を守るために学び続けていかなければならないこと、困ったときには相談することを確認しました。

【3年生の感想より】

- 一番心に残っているのは、結婚差別の解消に向けて、当事者の方からお話を聞き、クラスみんなで意見を出し合って考えたことです。「関係ないが一番傷つく」という言葉に考えさせられるものがありました。これからも差別を「関係ない」と切り捨てるのではなく、自分事として関係を持ち続け、なくしていきたいです。
- 自分だけの意見を持っているだけでなく、班での活動を通して、他の人の意見を聞いて考える時間も大切だと実感しました。間違えた人に対して、直接注意できなかったとしても、「それは違う」という正しい信念を自分の中で持ち、自分にできることはないかと考えていくことが大切だと思いました。
- 1年生の時に、「価値観の違い」について学習したことが一番心に残っています。自分が当たり前と思っていることが、他の人にとっては当たり前のことではないことを改めて知り、皆の意見を聞いていこうと思いました。

2年生 「教科書無償運動」や「識字運動」などを学ぶことで、先人たちがどのように人権を獲得してきたかということを学びました。今、自分たちが使っている無償の教科書は、人権を獲得するために「声を上げた人」がいて、その「声」に「協力した仲間」がいたから実現したことを知りました。差別をなくすために、私たちが大切にしなければならないことを学ぶことができました。また、「学べる」ことは当たり前ではないこと、また、「学ぶ」ことによって見える世界が変わってくることを実感しました。

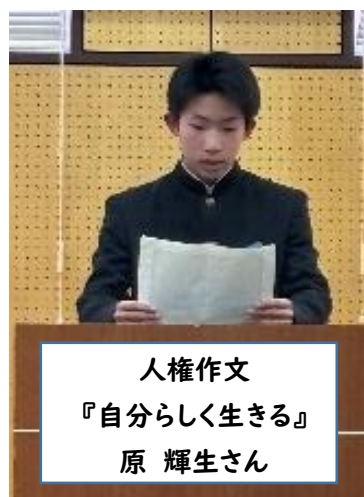
1年生 障がい者を取り巻く「4つのバリア」、身近にある「ユニバーサルデザイン」、「ステレオタイプ」や「アンコンシャス・バイアス」について考えを深め、自分自身の経験を思い出しながら、ユニバーサルデザインのグッズ案を考えました。授業を通して、多様性を認め、個性を大切にすることの重要性に気付くことができました。また、一人一人違うことが当たり前であり、その違いを尊重することが大切だと思いました。

② 土居隣保館まつり

人権作文発表、人権ポスター出品に加え、今年度は、バザーのお手伝いも頑張りました♪



バザーのお手伝い



人権作文
『自分らしく生きる』
原 輝生さん



人権ポスター